第781号
受付
21.8.27
小郡三井医師会

福県医発第1010号（地）
平成２１年８月２５日

各 医 師 会 長　殿

福 岡 県 医 師 会
会 長　横 倉 義 武
（公印省略）

出産育児一時金の代理申請・受取請求に係る記録条件仕様について

残暑の候、貴職ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成21年10月1日から実施される、出産育児一時金の支給額４万円引き上げ及び「出産育児一時金の医療機関等への直接払制度」につきましては平成21年６月22日付け福県医発第604号（地）にてご連絡申し上げているところであります。

今般、医療機関等から審査支払機関への光ディスク等による「専用請求書」の提出に必要な記録条件仕様が別添のとおり定められた旨、日本医師会より通知が参りましたのでご連絡申し上げます。

つきましては、貴会におかれましても本件につきご了知いただくとともに貴会会員への周知方についてご高配賜りますようお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

母子保健担当理事　松行眞門
会長　丸山　泉

医療

（保86）
平成２１年8月１８日

都道府県医師会
社会保険担当理事　殿

日本医師会常任理事
藤　原

出産育児一時金等の代理申請・受取請求に係る記録条件仕様について

緊急の少子化対策として、出産に係る被保険者等の経済的負担を軽減し、安心して出産できるようにするため、健康保険法施行令等において所要の改正を行い、平成２１年１０月１日から平成２３年３月３１日までの出産に対して、出産育児一時金等の支給額を４万円引き上げるとともに、被保険者等が医療機関等の分娩施設の窓口で出産費用をできるだけ現金で支払わなくても済むようにすることを目的に、「出産育児一時金等の医療機関等への直接支払制度」が平成２１年１０月１日より実施されますことは、平成２１年６月１６日付け日医発第２４７号（保58）によりご通知申し上げているところであります。

同通知においては、厚生労働省より「出産育児一時金等の医療機関等への直接支払制度」に関する実施要綱が示されており、その中で、医療機関が被保険者等に代わって出産育児一時金等を代理申請・受取請求をする場合、『専用請求書』により、原則として被保険者等の加入する保険者ごとに所定事項を記載の上、保険者から支払事務の委託を受けた支払機関に対し、光ディスク等によるＣＳＶ情報または紙媒体により提出することとなっております。

今般、医療機関等から審査支払機関への光ディスク等による『専用請求書』の提出に必要な記録条件仕様が別添のとおり定められましたのでご連絡申し上げます。

つきましては、貴会会員への周知方ご高配賜りますようお願い申し上げます。

＜添付資料＞
出産育児一時金等の代理申請・受取請求に係る記録条件仕様について
（平21.8.12　保保発0812第１号　厚生労働省保険局保険課長
保国発0812第２号　厚生労働省保険局国民健康保険課長）

福岡県医師会
受付
21.8.20
1919

保保発０８１２第１号
保国発０８１２第２号
平成２１年８月１２日

（社）日本医師会事務局長　殿

厚生労働省保険局保　険　課　長

国民健康保険課長

出産育児一時金等の代理申請・受取請求に係る記録条件仕様について

平成２１年１０月１日より実施する出産育児一時金等の医療機関等への直接支払制度の取扱いについては、平成２１年５月２９日保発第０５２９００９号保険局長通知により、各医療保険者あて通知した旨連絡したところである。

この際、同通知に添付した「「出産育児一時金等の医療機関等への直接支払制度」実施要綱」第２の２の(2)の③において別に示すこととしていた、医療機関等から審査支払機関への光ディスク等による専用請求書の提出に必要な記録条件仕様を別添のとおり定めたので、貴会会員等への周知等について、よろしくお取り計らい願いたい。

出産育児一時金等の代理申請・受取請求に係る記録条件仕様

（医療機関等 － 支払機関）

平成２１年８月

厚　生　労　働　省

1　データ交換の種類

病院、診療所又は助産所（以下「医療機関等」という。）と支払機関（国民健康保険団体連合会（以下「国保連」という。）及び社会保険診療報酬支払基金（以下「支払基金」という。）をいう。以下同じ。）との間で、交換情報の授受を実現するためのデータ交換方式は次の通りである。

- MO（マグネットオプティカルディスク）によるデータ交換
- CD-R（コンパクトディスク）によるデータ交換
- FD（フロッピーディスク）によるデータ交換

2　インタフェース仕様

2．1交換情報の仕様

（1）媒体仕様

ア　MO（マグネットオプティカルディスク）

（ア）　媒体及び物理フォーマット

ＪＩＳＸ６２７５－１９９７に適合する９０ｍｍ２３０ＭＢ又はＪＩＳＸ６２７７－１９９８に適合する９０ｍｍ６４０ＭＢの光ディスクを使用する。

（イ）　論理フォーマット

光ディスクの論理フォーマットはＪＩＳＸ０６０５－１９９７に規定する情報記録方式に準拠する。

（ウ）　ファイル構成

光ディスクのファイル構成は以下に規定するものを除きＪＩＳＸ０６０５－１９９７に準拠する。

ａ ルートディレクトリのディレクトリ項目は以下のとおりとする。

（ａ）　ボリュームラベル項目の有無は任意とする。

（ｂ）　サブディレクトリ指示項目はあってはならない。

（ｃ）　ディレクトリ項目のうち使用中のファイル項目を以下に示す。

ファイル名は点数表コード(１桁)＋医療機関コード(７桁)とし、拡張名を”UKE”とする。

文字位置	名 前	内 容
1	名前（１桁目）	点数表コード(保険医療機関が使用する点数表コード（別表２）) を記録する。
２～８	名前（２～８桁目）	医療機関コード(保険医療機関について定められた医療機関コードを記録する。) 助産所にあっては、別に付番するコードを医療機関コードに準じて取り扱う。以下同じ。
９～１１	拡張名	“UKE”
１２	属性	(00)又は(20)
１３～２２	予約	ＪＩＳＸ０６０５－１９９７に準拠
２３～２４	記録時刻	ＪＩＳＸ０６０５－１９９７に準拠
２５～２６	記録日付	ＪＩＳＸ０６０５－１９９７に準拠
２７～２８	先頭クラスタ番号	ＪＩＳＸ０６０５－１９９７に準拠
２９～３２	ファイル長	ＪＩＳＸ０６０５－１９９７に準拠

注１　１６進数は、０から９及びＡからＦを括弧でくくって表現する。

注２　その他のディレクトリ項目はすべて空きディレクトリ項目でなければならない。

イ　ＣＤ－Ｒ（コンパクトディスク）

（ア）　媒体及び物理フォーマット

ＪＩＳ　ＴＳ　Ｘ００２５－２００５の規格に適合する１２０㎜ コンパクトディスクを使用する。

（イ）　論理フォーマット

論理フォーマットはＩＳＯ９６６０形式（レベル１）に準拠する。

書き込みは、ディスクアットワンス（シングルセッション方式）方式とする。

（ウ）　ファイル構成

２．１－（１）－アー（ウ）のMOの「ファイル構成」と同じ。

ウ　ＦＤ（フロッピーディスク）

（ア）　媒体

ＪＩＳＸ６２２３－１９８７の規格に適合するフレキシブルディスクを使用する。

（イ）　物理フォーマット

物理フォーマットはＪＩＳＸ６２２５－１９９５に規定する情報記録方式に準拠する。

（ウ）　論理フォーマット

論理フォーマットはＪＩＳＸ０６０５－１９９７に規定する情報記録方式に準拠する。

（エ）　ファイル構成

２．１－（１）－アー（ウ）のMOの「ファイル構成」と同じ。

（２）　レコード形式

ア　レコード形式は可変長レコードとし、各レコードの末尾には改行コードを記録する。

イ　レコードにおける各項目間は、項目の区切りを示す１バイトの文字列（以下「コンマ」という。）で区切り識別する。

ウ　各項目は最大バイト数を規定するのみとする。項目形式が固定の項目については最大バイト数までの記録を必須とする。

項目形式が可変の項目で記録内容が最大桁数に満たない場合は、有効桁数までの記録としても差し支えないものとする。

エ　モード毎の有効桁の判断は次のとおりとする。

属　性	有　効　桁　の　判　断
数字	上位桁のゼロを除いた数字（但し項目形式が固定の場合は前ゼロを付加する）
英数	有効文字以降に継続する“英数スペース”を除いた英数カナ文字
漢字	有効文字以降に継続する“漢字スペース”を除いた漢字文字

※属性「英数」は英数カナ文字を表すが、以降の表の表記上「英数」と表す。

オ　内容を表現する文字の符号

内容を記録する文字の符号は、ＪＩＳＸ０２０１－１９７６の８単位符号及びＪＩＳＸ０２０８－１９８３の附属書１にて規定されているシフト符号化表現（シフトＪＩＳ）によるものとする。

なお、内容を記録する文字以外の制御符号は、次のとおりとする。

符号名称	図形記号	１６進数	最大バイト数	用　　途
コンマ	,	(2C)	1	項目の区切りを表現する。
引用符	"	(22)	1	使用しない。
改行コード		(0D) (0A)	2	レコードの区切りを表現する。
ＥＯＦコード		(1A)	1	ファイルの終わりを表現する。
疑問符（全角）	？	(81) (48)	2	使用しない。（ＪＩＳ規程外コードが記録された場合、疑問符（全角）に置換する。）

（３）ファイルフォーマット

医療機関等との交換情報のファイルは、以下の３種類のレコードから構成される。

・コントロールレコード

ファイルの先頭（第一レコード）に作成し、交換情報の識別、レコード件数、送付元等の制御情報を設定する。

・データレコード

ファイルの第二レコード以降に作成し、交換情報のデータを設定する。

・エンドレコード

ファイルの最終レコードとして作成し、交換情報の終端を表す。

コントロールレコード	ファイルの第一レコード
データレコード	ファイルの第二レコード以降のレコード
……	
データレコード	
エンドレコード	ファイルの最終レコード

（４）レコードフォーマット（ＭＯ・ＣＤ－Ｒ・ＦＤ共通）

各レコードはCSV形式で作成する。

・コントロールレコードフォーマット

項番	項目	属性	最大バイト数	項目形式	内容
1	レコード種別	数字	1	固定	コントロールレコードを示す１を設定する。
2	提出先番号	数字	1	固定	１（支払基金）または２（国保連合会）を設定する。
3	レコード番号（連番）	数字	9	可変	ファイル内の先頭レコードからの連番（１から始まる通番）を設定する。 マルチボリュームファイルの場合、マルチボリューム全体での通番となる。
4	ボリューム通番	数字	3	可変	ボリュームに対して付与する番号。 ボリュームにまたがらない単独のファイルの場合は０を設定する。 マルチボリュームファイルの場合は先頭ボリュームからの連番（１から始まる通番）を設定する。

項番	項目	属性	最大バイト数	項目形式	内容
5	レコード件数	数字	9	可変	データレコードの件数を設定する。(コントロールレコードおよびエンドレコードの件数は加算しない。) マルチボリュームファイルの場合、分割されたそれぞれのファイル内でのデータレコード件数を設定する。
6	医療機関等番号	数字	１０	固定	都道府県番号（別表１）＋点数表コード（別表２）＋医療機関コードの１０桁で設定する。
7	分娩機関管理番号	数字	１０	固定	産科医療補償制度加入時に（財）日本医療機能評価機構より受けた管理番号を記録する。 ただし、産科医療補償制度に未加入の場合は、nullとする。 ※参考　管理番号（１０桁）の決定方法 最初の２桁は、"00" 固定。 ３桁目が分娩機関種別で、１（病院）、２（診療所）、３（助産所）。 4, 5桁目が都道府県番号。 残り5桁が加入順に通し番号(分娩機関種別ごとには分かれていない)。
8	請求年月	数字	5	固定	年号区分コードを含め、数字 "GYYMM" の形式により設定する。(請求書の提出年月を記載する。)
9	ファイル管理番号	数字	6	可変	マルチボリュームファイルの場合にのみ意味を持つ作成するファイル単位に一意な値を設定する（分割された複数のファイルは全て同じ管理番号となる。)。

注 GYYMM の G は年号区分コード（別表３)、YY は和暦年、MM は月を示す。

・データレコードフォーマット

項番	項目	属性	最大バイト数	項目形式	内容
1	レコード種別	数字	1	固定	データレコードを示す２を設定する。
2	レコード番号（連番）	数字	9	可変	ファイル内の先頭レコードからの連番（１から始まる通番）を設定する。 マルチボリュームファイルの場合、マルチボリューム全体での通番となる。
3	データ				交換情報ごとに、CSV 形式でデータを設定する。 設定する内容は、各交換情報の「項目説明」を参照。

・エンドレコードフォーマット

項番	項目	属性	最大バイト数	項目形式	内容
1	レコード種別	数字	1	固定	エンドレコードを示す３を設定する。
2	レコード番号（連番）	数字	9	可変	ファイル内の先頭レコードからの連番（１から始まる通番）を設定する。 マルチボリュームファイルの場合、マルチボリューム全体での通番となる。

２．２　データレコード

２．２．１出産育児一時金等請求情報

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	7111	出産育児一時金等請求書情報	医療機関等から出産育児一時金等請求を行う際に提出する医療機関等単位の集計情報。	医療機関等 → 支払機関	月次	磁気
(2)	7121	出産育児一時金等代理申請・受取請求書情報	医療機関等から出産育児一時金等に係る請求を行う際に提出する被保険者等単位の明細情報。	医療機関等 → 支払機関	月次	磁気

２．２．２出産育児一時金等請求書情報

項番	項目名	属性	最大バイト数	項目形式	内容	必須入力	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	固定	交換情報識別番号を設定する。	○	“7111” 固定
2	請求年月	数字	5	固定	年号区分コードを含め、数字“GYYMM”の形式により設定する。（請求書の提出年月を記載する。）	○	
3	医療機関等番号	数字	１０	固定	都道府県番号（別表１）＋点数表コード（別表２）＋医療機関コードの１０桁で設定する。	○	
4	分娩機関管理番号	数字	１０	固定	産科医療補償制度加入時に（財）日本医療機能評価機構より受けた番号を記録する。		
5	件数	数字	6	可変	請求件数の合計を設定する。	○	
6	出産数	数字	6	可変	出産数の合計を設定する。	○	
7	出産育児一時金等代理受取額合計	数字	１２	可変	出産育児一時金等代理受取額の合計額を設定する。	○	

注 GYYMM の G は年号区分コード（別表３）、YY は和暦年、MM は月を示す。

２．２．３出産育児一時金等代理申請・受取請求書情報（複数レコード）

項番	項目名	属性	最大バイト数	項目形式	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	固定	交換情報識別番号を設定する。	“7121” 固定
2	保険者番号	英数	8	固定	１　保険者番号を記録する。 ２　８桁以内で設定された保険者番号については右づめに記録し残りは“スペース”を記録する。	
3	請求年月	数字	5	固定	年号区分コードを含め、数字“GYYMM”の形式により設定する。（請求書の提出年月を記載する。）	
4	分娩区分	数字	1	固定	１（正常分娩）または２（異常分娩）を設定する。	

項番	項目名	属性	最大バイト数	項目形式	内容	備考
5	医療機関等番号	数字	１０	固定	都道府県番号（別表１）＋点数表コード（別表２）＋医療機関コードの１０桁で設定する。	省略可
6	分娩機関管理番号	数字	１０	固定	産科医療補償制度加入時に（財）日本医療機能評価機構より受けた管理番号を記録する。	省略可
7	加入制度区分	数字	１	固定	１（社会保険加入）または２（国民健康保険加入）を設定する。	
8	本人・家族区分	数字	１	固定	１（本人）または５（家族）を設定する。	
9	被保険者証記号	英数又は漢字	４０	可変	１　被保険者証（日雇特例被保険者の受給資格者票又は特別療養費受給票若しくは国民健康保険被保険者資格証明書を含む。）等の「記号及び番号」欄の記号を左づめに記録する。 ２　３８バイトまでの記録とする。 ３　記録する記号が３８バイトに満たない場合は、後続する“スペース”を省略しても差し支えない。 ４　英数モードと漢字モードの文字を混在して記録しない。 ５　英数モードで記録する場合は、有効桁数を最大１９桁以内で記録する。 ６　番号のみ設定されている場合は、記録を省略する。	漢字の場合は番号の記録バイトと合わせて３８バイト（１９桁）以内とする。 英数の場合は番号の記録バイトと合わせて１９バイト（１９桁）以内とする。
10	被保険者証番号	英数又は漢字	４０	可変	１　被保険者証（日雇特例被保険者の受給資格者票又は特別療養費受給票若しくは国民健康保険被保険者資格証明書を含む。）等の「記号及び番号」欄の番号を左づめに記録する。 ２　３８バイトまでの記録とする。 ３　記録する記号が３８バイトに満たない場合は、後続する“スペース”を省略しても差し支えない。 ４　英数モードと漢字モードの文字を混在して記録しない。 ５　英数モードで記録する場合は、有効桁数を最大１９桁以内で記録する。	漢字の場合は記号の記録バイトと合わせて３８バイト（１９桁）以内とする。 英数の場合は記号の記録バイトと合わせて１９バイト（１９桁）以内とする。

項番	項目名	属性	最大バイト数	項目形式	内容	備考
11	妊婦氏名	漢字	４０	可変	１　姓名を記録する。 ２　姓と名の間に“スペース”を１桁記録する。 ３　姓名が４０バイトに満たない場合は、後続する“スペース”を省略しても差し支えない。 ４　全角カナとして記録。	
12	生年月日	数字	７	固定	当該妊婦の生年月日について、和暦の年号区分コードを含め、数字“GYYMMDD”の形式により設定する。	
13	在胎週数	数字	２	可変	在胎週数を記録する。	
14	出産年月日	数字	７	固定	和暦の年号区分コードを含め、数字“GYYMMDD”の形式により設定する。	
15	死産有無	数字	１	固定	１（死産）２（死産でない）３（混在）のいずれかを設定する。	
16	出産数	数字	１	固定	出産のあった児の数を記録する。	
17	入院日数	数字	３	可変	当該医療機関等に入院していた日数を記録する。	
18	産科医療補償制度対象分娩区分	数字	１	固定	１（対象分娩）２（対象分娩でない）３（混在）のいずれかを設定する。	
19	入院料	数字	８	可変	相当費用が発生していない場合は、０（ゼロ）を設定する。	
20	室料差額	数字	８	可変	相当費用が発生していない場合は、０（ゼロ）を設定する。	
21	分娩介助料	数字	８	可変	正常分娩時は、null。 異常分娩であって、相当費用が発生していない場合は、０（ゼロ）を設定する。	異常分娩（分娩に係る異常が発生し、鉗子娩出術、吸引娩出術、帝王切開術等の産科手術又は処置等が行われ、当該診療行為に係る診療報酬明細書において特記事項に「２５出産」と記載されたもの）時のみ記録する。
22	分娩料	数字	８	可変	異常分娩時は、null。 正常分娩であって、相当費用が発生していない場合は、０（ゼロ）を設定する。	正常分娩（分娩が療養の給付の対象とならなかった場合）時のみ記録する。
23	新生児管理保育料	数字	８	可変	相当費用が発生していない場合は、０（ゼロ）を設定する。	
24	検査・薬剤料	数字	８	可変	相当費用が発生していない場合は、０（ゼロ）を設定する。	

項番	項目名	属性	最大バイト数	項目形式	内容	備考
25	処置・手当料	数字	8	可変	相当費用が発生していない場合は、0（ゼロ）を設定する。	
26	産科医療補償制度	数字	6	可変	相当費用が発生していない場合は、0（ゼロ）を設定する。	
27	その他	数字	8	可変	相当費用が発生していない場合は、0（ゼロ）を設定する。	
28	一部負担金等	数字	8	可変	相当費用が発生していない場合は、0（ゼロ）を設定する。	
29	妊婦合計負担額	数字	8	可変		
30	代理受取額	数字	8	可変		
31	備考	英数又は漢字	６０	可変		

注 GYYMMDD、GYYMM の G は年号区分コード（別表３）、YY は和暦年、MM は月、DD は日を示す。

別表１　都道府県コード

コード名	コード	コード内容
都道府県コード	０１	北海道
	０２	青森
	０３	岩手
	０４	宮城
	０５	秋田
	０６	山形
	０７	福島
	０８	茨城
	０９	栃木
	１０	群馬
	１１	埼玉
	１２	千葉
	１３	東京
	１４	神奈川
	１５	新潟
	１６	富山
	１７	石川
	１８	福井
	１９	山梨
	２０	長野
	２１	岐阜
	２２	静岡
	２３	愛知
	２４	三重
	２５	滋賀
	２６	京都
	２７	大阪
	２８	兵庫
	２９	奈良
	３０	和歌山
	３１	鳥取
	３２	島根
	３３	岡山
	３４	広島
	３５	山口
	３６	徳島
	３７	香川
	３８	愛媛
	３９	高知
	４０	福岡
	４１	佐賀
	４２	長崎
	４３	熊本
	４４	大分
	４５	宮崎
	４６	鹿児島
	４７	沖縄

別表２　点数表コード

コード名	コード	コード内容
点数表コード	1	医科
	0	助産所

別表３　年号区分コード

コード名	コード	コード内容
年号区分コード	1	明治
	2	大正
	3	昭和
	4	平成